

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年4月29日

団体名 全日本竹水鉄砲合戦実行委員会

代表者 上田 達也

構成員 10 人 （※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

本会は、古来より生活や遊びの中の様々な所で活用されてきた竹について、竹林管理が行き届かないことによる荒廃が里山全体に大きな影響をもたらしていることに対して、竹の有効利用に関する事業を行い、竹林の荒廃や竹の有効利用に係る問題の改善や解決を図り、竹水鉄砲合戦なるスポーツを推進することによる活力の向上と資源の有効活用の増進に寄与すること、併せて竹水鉄砲合戦を通じて環境、教育の活動及び農山漁村又は中山間地域の振興による世の中の発展を図ることを目的とする

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益※1を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員※2		
4月23日	桜形町	市民(参加者)	1	1	竹林整備・竹炭 焼き	山林の環境活動の促進
5月5日	中央総合 公園	市民(参加者)	150	5	竹水鉄砲合戦教 室	竹の有効利用
7月18日	小豆坂小 学校	小豆坂小学校 児童、教師	130	1	竹水鉄砲合戦教 室	竹の有効利用及び山林 等の環境問題に対する 知識の習得
9月3日	南公園	市民(参加者)	120	2	竹水鉄砲合戦教 室	竹の有効利用

※1 公益 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 会員 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

利用価値の激減した竹を有効活用して、多くの人々の参加に於いて事業を推進することができたから

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。